

###

リールアジア 待望の日本映画  
HIGHLY ANTICIPATED JAPANESE FILMS AT REEL ASIAN

[2013年10月8日 トロント] ナショナルバンク提供にて開催されるトロント・リールアジア国際映画祭は、今年も引き続き、最も期待されている日本映画作品のプレミア上映を行います。今年の日映映上は、ジャパン・ファンデーションの温かなご支援・ご協力により支えられています。

『エヴァンゲリオン新劇場版：Q』 EVANGELION: 3.0 YOU CAN (NOT) REDO  
庵野秀明 主監督/鶴巻和哉/摩砂雪/前田真宏/2012/日本/トロントプレミア

長きにわたり人気を維持したテレビアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」を映画化した『エヴァンゲリオン新劇場版』シリーズ第3部は、14年の冬眠から目覚めたシンジの地球への帰還から始まる。しかし、彼が見たのは、新世界秩序と見覚えのない故郷の姿。すべてが廃墟と化し、かつて、シンジが守ろうとして必死に戦った仲間達は、残酷にも彼に敵対しているのだった。2億ドルを超える予算を掛けたこの大人気シリーズは、アニメ界の新興宗教の神のような存在として崇められ、熱狂的に支持されている。

『エヴァンゲリオン新劇場版：Q』 EVANGELION: 3.0 YOU CAN (NOT) REDO : 11月8日(金)  
11:15pm, The Royal

『桐島、部活やめるってよ』 THE KIRISHIMA THING  
吉田大八監督/2012/日本

ある金曜日、バレー部のスターの生徒「桐島」が部活をやめるという噂が校内を駆け巡り、桐島の部活仲間やガールフレンド、クラスメイト達の中に不穏な空気が流れる。朝井リョウの同名ベストセラー小説(2010)を映画化した本作は、学校内に存在するヒエラルキーと、息の詰まる人間関係の中で生活してゆく高校生達を題材にした青春最高傑作。演技も、脚本も、演出も文句無し。これまで得てきた数々の賞(最優秀作品賞・監督賞・編集賞(2012年度日本アカデミー賞)、日本映画優秀賞・監督賞(2012年度毎日映画コンクール))に値する映画であることは確実だ。

『桐島、部活やめるってよ』 THE KIRISHIMA THING:11月6日(水) 8:30pm, AGO Jackman Hall

『舟を編む』 THE GREAT PASSAGE  
石井裕也監督/2013/日本/トロントプレミア

アカデミー賞外国語映画部門の日本代表となった本作は、変わり者の言語学者、馬締（松田龍平）と、下宿先の大家の娘（宮崎あおい）との優しいラブストーリー。新しい辞書を編集するという重大な仕事に取り組み、「愛」という言葉の定義を探る馬締の初恋の行方は…。三浦しをんの同名ベストセラー小説原作。人と人との思いをつなぐ「言葉」を整理し、意味を示し、最もふさわしい形で使えるようにするもの、「辞書」を編集する出版社の物語。いつの間にか夢中になってしまう愛すべきこのドラマは、豪華キャスト達の演じる、風変わりなユーモアの底にある真摯な思い、一生懸命生きる普通の人々を描いている。石井裕也監督（『川の底からこんにちは』2010年）は、日本で最も有名な年若き監督達の一人。本作は、普通の人々の人間らしいおかしさや情熱を、真っすぐに描写することで知られる彼の新作だ。Japanese Canadian Cultural Centre と Toronto Japanese Film Festival の協力で上映される。

『舟を編む』 THE GREAT PASSAGE : 11月14日（木）7:00pm, Japanese Canadian Cultural Centre, Kobayashi Hall

カナダ人による作品も、リールアジアンにとっては欠かせないもの。数々の短編/長編作品が今回も上映される予定です。

今年は、日系カナダ人の監督達 – シンディ・モチヅキ監督、ランドール・オキタ監督、そしてジェフ・チバ・スターンズ監督の作品が発表されます。

**メディア連絡先**

Virginia Kelly, V Kelly & Associates – 416-466-9799 – info@vkpr.ca  
プレス情報、デジタル画像、プレスリリース、取材申請パスの詳細は [www.reelasian.com](http://www.reelasian.com) まで。

-30-